

議事

(1) 第5次菊川市男女共同参画プラン素案について

資料1-1、別紙

●プランの素案について

【委員】SRHR（セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ）というのは、性と生殖に関する健康と権利で、かつて開発途上国の女性が自分の意思で子どもを産むことができないなど、性と生殖に関して自分で決めることができない状況を何とかしなければならないということで、関係機関が改善に向けた取組を行ってきました。現在、この課題は、開発途上国だけでなく、先進国等でもDV等の問題に絡んで注視されるようになり、国際社会全体で積極的に改善に向けて取り組むようになりました。今回SRHRを加えたこと、日本語表記をはっきりと示したことはとても良いと思います。

他にも施策について、「アンコンシャス・バイアス」をそのまま記載せずに、「無意識の思い込み」「固定的な性別役割分担意識」とわかりやすい表現にしてあって良いと思います。

●プランの事業数について

【アドバイザー】事業数が80もある。指標の数も多いので、事業をまとめる等、もう少し見直しをし、事業数を減らしてもよいのではないのでしょうか。

【事務局】男女共同参画の為の事業もありますが、各課が持っている個別計画の中で男女共同参画に関わる事業も掲載しているため事業数が多くなっています。今回は担当課とのヒアリングを通して事業の見直しを行い、2割程度事業数を減らしました。

(2) 第5次菊川市男女共同参画プラン基本理念について

資料2

●基本理念について

【委員】事務局の案がありますが、率直な感想ですが、どれも固いなと思いました。例えば「菊川」という文字を取ってしまったら、どの街にも通用するキャッチフレーズになってしまうので、そこに菊川らしさ、特徴が見えてこないのはもったいないと感じました。少しでも内容が頭に浮かぶようなキャッチフレーズができると、まさにそれが菊川市独自のものになってくる。男女共同参画で皆でどんな取り組みをしていくかが少しでも謳われているものがないのかな、と思います。

【委員】事務局の案を読ませてもらって、皆で支えあっているということが伝わる言葉を入れたらいいかな、と思いました。安心して暮らせる街、未来をつくる街等、「幸せ」という言葉に収まってはいるんですが。あとは、「誰もが自分らしく生きる」もそうですが、「選ぶ」「選択」みたいな言葉をいれると、いいのではないかと個人的に思います。

【委員】私は、基本理念は「共生」とか「認め合う」といった言葉がスローガンのにはわかりやすいです。堅苦しいかもしれないけれど、多様性を認め合うという方がいいと思います。

【事務局】3次の際は女と男を「ひと」と「ひと」と表現していて、女性も男性も一緒に、というイメージが強かったが、この頃から多様な性について考える必要が出てきました。加えて菊川市は外国人や様々なルーツを持つ人も多いので、市民の皆さんの個性や特徴みたいなものを皆で認め合おう、ということで、4次では「多様性」という言葉に集約

して「誰もが多様性を認め合い、自分らしく輝くまち」という基本理念を選定しました。「多様性」という言葉は菊川の特徴と言えます。

また、アンコンシャス・バイアスの話の中で、自分の思いや気持ち、意見が、性別によって遮られることがない、ということが大事だと思うので、“選ぶことができる”というイメージができるといいです。

【事務局】どのように実現していくかという要素が入っているといいと感じています。あとは菊川らしさということについては工夫したい。

【委員】「多様性」という言葉が菊川市の特徴を表わすのであれば、この言葉を用いるのはいいことだと思います。

【アドバイザー】菊川市らしさを皆さんが実感していて、一番ヒットする言葉を選ぶのが大事だと思います。その上で、ウェルビーイングに近づくために大事なものは、多様性と自己決定権。自分で決めるという事は、すごく幸福度を上げると言われています。あとはやればできる、という自己効力感。そのあたりを組み合わせしていくといいのかな、と思います。

一方で「幸せを実感し、自分らしく暮らせるまち」という案も、今ある幸せをいろいろな形で実感するという当事者意識を呼び覚ますようなニュアンスもあっていいなと思いました。

【委員】皆さんの意見をいろいろ聞いて、“多様性を認め合う”“ともに幸せをつくる”という言葉について意見が多いですね。

【委員】「誰もが多様性を認め合い、ともに幸せをつくるまち」と聞くと、皆で一緒に幸せになろう、と支え合う感じが伝わってきます。「自分らしく暮らせるまち」とすると、自分がどうやったら幸せになれるのか、という自分一人で幸せに生きていく方法を探すイメージがあるので、“共に支えあう”という言葉はいいな、と思います。「自分で選択する」ということも大事だとは思いますが、“みんなで幸せをつくる”という方が男女共同参画や協働のイメージが伝わってくるのではないかと個人的には思います。

【事務局】「誰もが多様性を認め合い、ともに幸せをつくるまち」をベースに、最後に「菊川」を入れるのかどうかも含めて、本日皆さんからいただいた意見を参考に、基本理念を検討します。

(3) 第4次菊川市男女共同参画プラン事業（令和8年度）について

資料3

●小学生への職業講話について

【委員】実施時間について、開始時間が書いてあるが終了時間の記載はない。1時間でやるのか2時間使うのでしょうか。

【事務局】小学校で45分授業の中で行います。内訳は導入5分、講話15分を二人分、まとめと質疑応答10分です。

●園児への読み聞かせについて

【アドバイザー】静岡市で読み聞かせを行っているが、子ども達は意外と覚えている。子どもの頃の記憶はすごく大事だと思います。